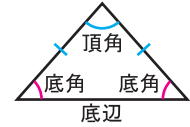
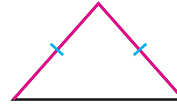


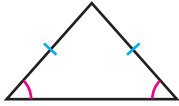
三角形 (1)

二等辺三角形

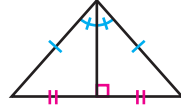
定義：2つの辺が等しい三角形を二等辺三角形という。



二等辺三角形の性質



① 定理：二等辺三角形の底角は等しい。



② 定理：二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に二等分する。

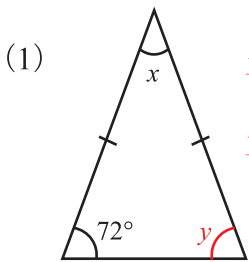
ていぎ
定義…言葉の意味をはっきりと述べたもの

ていり
定理…証明されたことがらのうちで、よく使われる大切なもの

二等辺三角形になるための条件

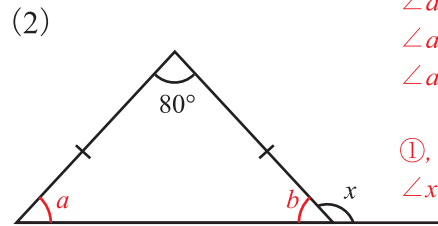
定理：2つの角が等しい三角形は、その2つの角を底角とする二等辺三角形である。

【1】次の図で、 $\angle x$ の大きさを答えなさい。



二等辺三角形の底角は等しいので、
 $\angle y = 72^\circ$
三角形の内角の和は 180° なので、
 $\angle x = 180^\circ - 72^\circ \times 2 = 36^\circ$

答え $\angle x = 36^\circ$



二等辺三角形の底角は等しいので、
 $\angle a = \angle b \dots ①$
 $\angle a + \angle b + 80^\circ = 180^\circ$
 $\angle a + \angle b = 180^\circ - 80^\circ = 100^\circ \dots ②$
①, ②より、 $\angle a = 50^\circ$
 $\angle x = 80^\circ + 50^\circ = 130^\circ$

答え $\angle x = 130^\circ$

【2】 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC で、角 A の二等分線と辺 BC の交点を P としたとき、 $BP = CP$ であることを証明したい。次の□をうめて、証明を完成させなさい。

$\triangle ABP$ と $\triangle ACP$ で、

仮定より、 $AB = \text{㊦} AC \dots ①$

$\angle BAP = \text{㊧} \angle CAP \dots ②$

また、共通な辺だから、

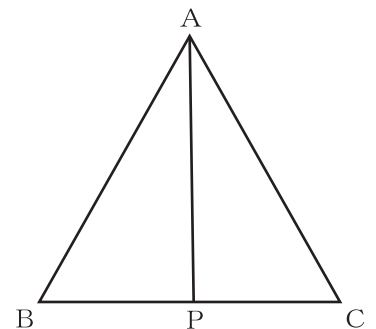
$\text{㊨} AP = AP \dots ③$

①, ②, ③より、 $\text{㊩} 2 \text{組の辺とその間の角}$ がそれぞれ等しいので、

$\triangle ABP \equiv \text{㊪} \triangle ACP$

$\text{㊫} 合同な図形の対応する辺$ は等しいから、

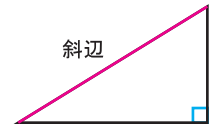
$BP = CP$



三角形 (2)

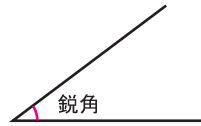
直角三角形

定義：1つの内角が直角の三角形を**直角三角形**という。
 直角三角形の、直角に向かい合う辺を**斜辺**という。



鋭角と鈍角

90°より小さい角を**鋭角**，
 90°より大きく、180°より小さい角を**鈍角**という。



直角三角形の合同条件



① 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。



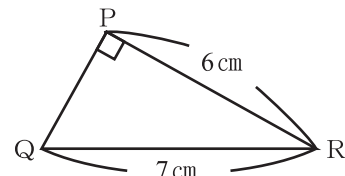
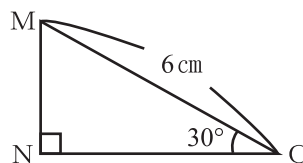
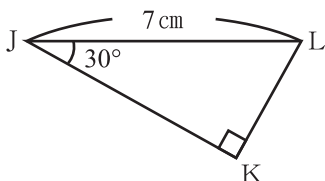
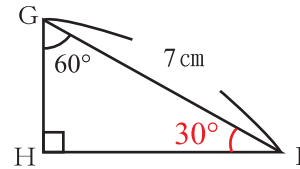
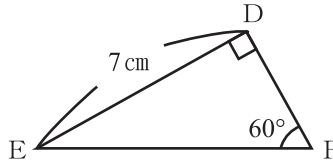
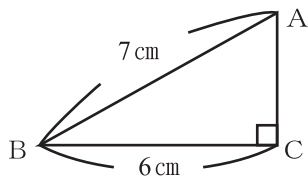
② 斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい。

逆

「●●ならば▲▲」という定理の、仮定と結論をいれかえた
 「▲▲ならば●●」を、その定理の**逆**という。
 正しいことがらの逆が、いつも正しいとは限らない。
 逆が正しくないことを示すには、**反例**を1つあげればよい。

はんれい
反例…あることがらが
 成り立たないことを
 示す例

【1】下の図で、合同な直角三角形を見つけ、記号 \equiv を使って表しなさい。
 また、そのときに使った直角三角形の合同条件を答えなさい。



答え

• $\triangle ABC \equiv \triangle QRP$ 条件 斜辺と他の一辺がそれぞれ等しい。

• $\triangle GHI \equiv \triangle LKJ$ 条件 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。

【2】次のことがらの逆を答えなさい。また、それが正しい場合は()に○を、正しくない場合は×をかき、反例を1つあげなさい。

(1) a と b のどちらも奇数ならば ab は奇数である。

逆 ab が奇数ならば a と b のどちらも奇数である。 (○) 反例

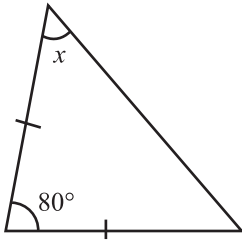
(2) a が偶数、 b が奇数ならば ab は偶数である。

逆 ab が偶数ならば a は偶数、 b は奇数である。 (×) 反例 $ab = 8, a = 2, b = 4$ など

三角形 (3)

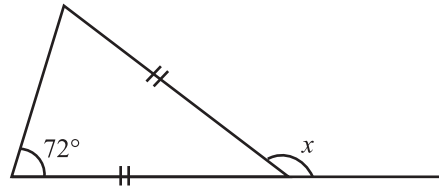
【1】次の図で、 $\angle x$ の大きさを答えなさい。

(1)



答え $\angle x = 50^\circ$

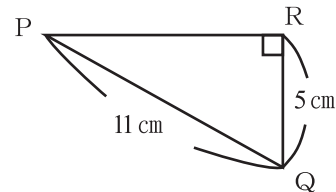
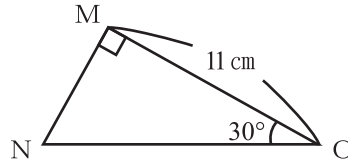
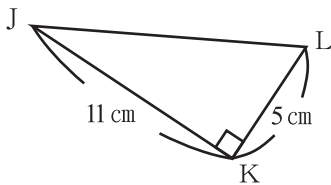
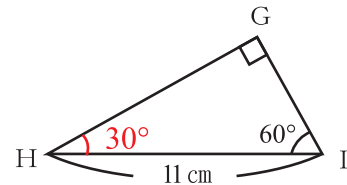
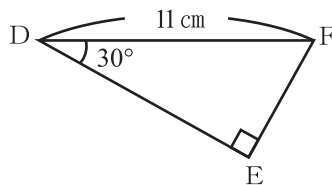
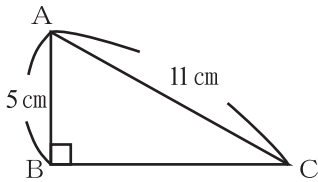
(2)



答え $\angle x = 144^\circ$

【2】下の図で、合同な直角三角形を見つけ、記号 \equiv を使って表しなさい。

また、そのときに使った三角形の合同条件を答えなさい。



答え

• $\triangle ABC \equiv \triangle QRP$ 条件 斜辺と他の一辺がそれぞれ等しい。

• $\triangle DEF \equiv \triangle HGI$ 条件 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。

【3】次のことがらの逆を答えなさい。また、それが正しい場合は()に○を、正しくない場合は×をかき、反例を1つあげなさい。

(1) 2直線に1つの直線が交わる時、2直線が平行ならば錯角は等しい。

2直線に1つの直線が交わる時、
逆 錯角が等しいならば2直線は平行である。 (○) 反例

(2) $a > 0, b > 0$ ならば $ab > 0$

逆 $ab > 0$ ならば $a > 0, b > 0$ (×) 反例 $ab = 2, a = -1, b = -2$ など

(3) 2つの辺が等しい三角形は二等辺三角形である。

逆 二等辺三角形は2つの辺が等しい。 (○) 反例

三角形 (4)

【1】 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC で、 $BE = CD$ となるように点 D, E をとり、
 BD と CE の交点を P とする。このとき、 $\triangle PBC$ が二等辺三角形であることを証明したい。
 次の□をうめて、証明を完成させなさい。

$\triangle EBC$ と ㉞ $\triangle DCB$ で、仮定より

$BE =$ ㉟ CD … ①

$\angle EBC =$ ㊱ $\angle DCB$ … ②

共通な辺だから、 ㊲ $BC = CB$ … ③

①, ②, ③より、 ㊳ 2組の辺とその間の角 がそれぞれ等しいので、

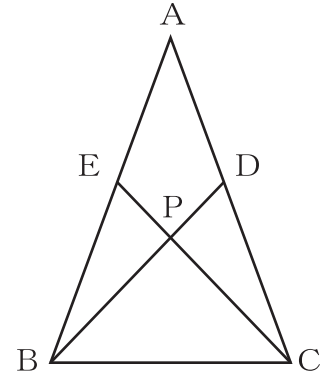
$$\triangle EBC \equiv \triangle DCB$$

合同な図形の対応する角は等しいから、

$$\angle ECB =$$
 ㊴ $\angle DBC$

したがって、 $\angle PCB = \angle PBC$

$\triangle PBC$ において、2つの角が等しいので、 $\triangle PBC$ は二等辺三角形である。



【2】 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC で、辺 BC の中点を M とする。
 M から辺 AB, AC まで垂線を引き、交点をそれぞれ D, E とする。
 このとき、 $DB = EC$ であることを証明したい。
 次の□をうめて、証明を完成させなさい。

$\triangle DBM$ と $\triangle ECM$ で、

仮定より、 $\angle BDM =$ ㉞ $\angle CEM$ $= 90^\circ$ … ①

$BM =$ ㉟ CM … ②

$\angle DBM =$ ㊱ $\angle ECM$ … ③

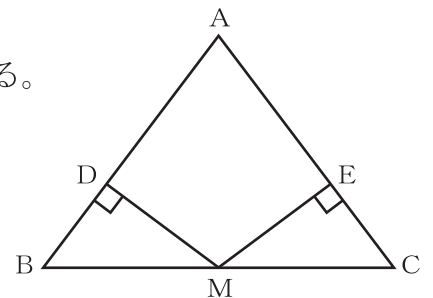
①, ②, ③より、

㊲ 斜辺と1つの鋭角 がそれぞれ等しいので、

$$\triangle DBM \equiv \triangle ECM$$

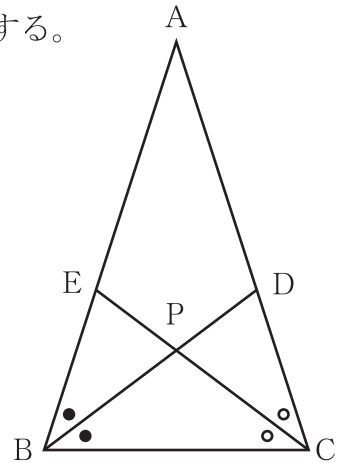
㊳ 合同な図形の対応する辺 は等しいから、

$$DB = EC$$



三角形 (5)

【1】 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC で、 $\angle B$ 、 $\angle C$ の二等分線を引き、辺 AC 、 AB との交点を D 、 E とする。また、 BD と CE の交点を P とする。次の問いに答えなさい。



(1) $\triangle PBC$ が二等辺三角形であることを証明したい。

次の□をうめて、証明を完成させなさい。

$\triangle EBC$ と $\boxed{\text{㊦} \quad \angle DCB}$ で、
 仮定より、 $\angle EBC = \boxed{\text{㊦} \quad \angle DCB} \dots \text{①}$
 $\angle DBC = \boxed{\text{㊦} \quad \frac{1}{2} \angle EBC} \dots \text{②}$
 $\angle ECB = \boxed{\text{㊦} \quad \frac{1}{2} \angle DCB} \dots \text{③}$
 ①、②、③より、 $\angle DBC = \boxed{\text{㊦} \quad \angle ECB}$

したがって、 $\angle PBC = \angle PCB$

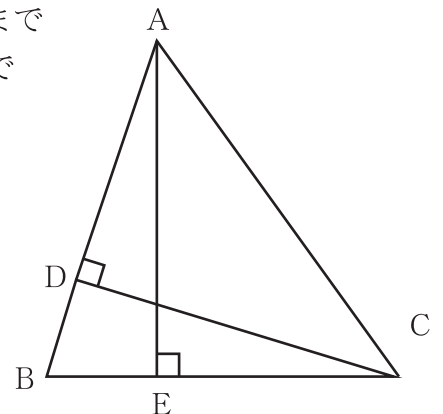
$\triangle PBC$ において、2つの角が等しいので、 $\triangle PBC$ は二等辺三角形である。

(2) $\angle A = 40^\circ$ のとき、 $\angle BPC$ の大きさを求めなさい。

$\angle EBC = \angle DCB \dots \text{①}$
 $\angle EBC + \angle DCB + \angle A = 180^\circ \dots \text{②}$
 ①、②より、 $2 \times \angle EBC = 180^\circ - 40^\circ = 140^\circ$
 $\angle EBC = 70^\circ$
 $\angle PBC = \angle PCB = \frac{1}{2} \times \angle EBC = 35^\circ$
 $\angle BPC = 180^\circ - (\angle PBC + \angle PCB) = 180^\circ - 70^\circ = 110^\circ$

答え $\angle BPC = 110^\circ$

【2】 $BA = BC$ の二等辺三角形 ABC で、頂点 C 、 A から辺 AB 、 BC まで垂線を引き、交点をそれぞれ D 、 E とする。このとき、 $BD = BE$ であることを証明しなさい。



$\triangle ABE$ と $\triangle CBD$ で、
 仮定より、 $\angle AEB = \angle CDB = 90^\circ \dots \text{①}$
 $BA = BC \dots \text{②}$
 共通な角なので、 $\angle ABE = \angle CBD \dots \text{③}$
 ①、②、③より、

斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので、 $\triangle ABE \cong \triangle CBD$
 合同な図形の対応する辺は等しいから、 $BD = BE$